

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 6 月 25 日 (2009.6.25)

【公開番号】特開 2007-23287 (P2007-23287A)

【公開日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【年通号数】公開・登録公報 2007-004

【出願番号】特願 2006-196044 (P2006-196044)

【国際特許分類】

C 0 9 B 45/14 (2006.01)

C 0 9 B 45/22 (2006.01)

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

D 0 6 P 1/10 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 45/14 B

C 0 9 B 45/22

C 0 9 B 67/20 E

C 0 9 B 67/20 K

D 0 6 P 1/10

C 0 9 D 11/00

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 5/00 Z

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 2 B 5/22

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 7 日 (2009.5.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

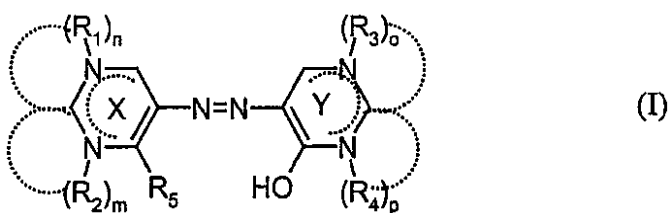
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

任意選択でゲスト化合物を含有してもよい、下記式 (I) のアゾ化合物：

【化 1】



(式中、

X および Y を付した環はそれぞれ、以下の組、= O、= S、= N R₇、- N R₆ R₇、

-OR₆、-SR₆、-COOR₆、-CN、-CONR₆R₇、-SO₂R₈、
【化 2】



アルキル、シクロアルキル、アリールおよびアラルキル、からの 1 つまたは 2 つの置換基を有してもよく、

環 X および Y のそれぞれについて環内および環外二重結合の合計は 3 であり、

ここで、

R₆ は水素、アルキル、シクロアルキル、アリールまたはアラルキルであり、

R₇ は水素、シアノ、アルキル、シクロアルキル、アリール、アラルキルまたはアシルであり、そして

R₈ はアルキル、シクロアルキル、アリールまたはアラルキルであり、

R₁、R₂、R₃ および R₄ は水素、アルキル、シクロアルキル、アリールまたはアラルキルであり、そしてさらに、式 (I) に破線で示されるように、それにさらなる環が縮合されてもよい 5 - または 6 - 員環を形成してもよく、

R₅ は -OH、-NR₆R₇、アルキル、シクロアルキル、アリールまたはアラルキルであり、

ここで、R₆ および R₇ は上に定義される通りであり、

そして CH 基を含有する R₁ ~ R₈ に対して与えられる置換基において CH 基の水素原子が置換されてもよく、

そして m、n、o および p は 1 であってもよく、あるいはまた、式 (I) 中で破線で示されるように、相当する置換基 R₁ ~ R₄ がその上にある環窒素原子から二重結合が始まる場合にはゼロであってもよい)

またはその互変異性構造体の金属化合物の製造方法であって、前記製造が種結晶の存在下で行われることを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 に定義された式 (I) のアゾ化合物の金属化合物、またはそれらと少なくとも 1 のさらなる異なる化合物のホスト - ゲスト化合物であって、少なくとも 180 m² / g の BET 比表面積を有する化合物。

【請求項 3】

少なくとも 1 の光硬化性モノマー、少なくとも 1 の光開始剤、および請求項 2 に記載の少なくとも 1 の金属化合物またはそのホスト - ゲスト化合物を含むフォトレジスト。

【請求項 4】

請求項 2 に記載の少なくとも 1 の金属化合物またはそのホスト - ゲスト化合物を含むカラーフィルター。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の少なくとも 1 のカラーフィルターを含む液晶ディスプレイ。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の方法によって製造された金属化合物もしくはそのホスト - ゲスト化合物の使用、または請求項 2 に記載の金属化合物もしくはそのホスト - ゲスト化合物の使用を含む、液晶ディスプレイ中のカラーフィルターの製造方法。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の方法によって製造された、少なくとも 1 の金属化合物もしくはそのホスト - ゲスト化合物、または請求項 2 に記載の金属化合物もしくはそのホスト - ゲスト化合物と少なくとも 1 の分散剤とが混合される、顔料調合物の製造方法。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の方法によって製造された金属化合物もしくはそのホスト - ゲスト化合物の、または請求項 2 に記載の金属化合物もしくはそのホスト - ゲスト化合物の、顔料とし

ての使用。

【請求項 9】

印刷インク、水性塗料もしくはバインダーカラーを製造するための、合成、半合成もしくは天然高分子物質、とりわけポリ塩化ビニル、ポリスチレン、ポリアミド、ポリエチレンもしくはポリプロピレンの内部着色のための、そしてまた天然、再生もしくは人造繊維、例えばセルロース繊維、ポリエステル繊維、ポリカーボネート繊維、ポリアクリロニトリル繊維もしくはポリアミド繊維の原着のための、そしてまた織物および紙に印刷するための、請求項 1 に記載の方法によって製造された金属化合物のもしくはそのホスト - ゲスト化合物の、または請求項 2 に記載の金属化合物もしくはそのホスト - ゲスト化合物の、または請求項 7 に従って製造された顔料調合物の使用。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の方法によって製造された金属化合物のもしくはそのホスト - ゲスト化合物の、または請求項 2 に記載の金属化合物もしくはそのホスト - ゲスト化合物の、または請求項 5 に従って製造された顔料調合物の、ラミネート用の顔料としての、液晶ディスプレイにおけるカラーフィルター用の顔料としての、またはインクジェット印刷用の顔料としての使用。